



# 協会だより

Japan Tourism Facilities Association

No.90



## 3月

発行 / 公益社団法人国際観光施設協会

総務委員会

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋

2-8-5 多幸ビル九段2階

TEL03-3263-4844

FAX03-3263-4845

E-mail : kankou01@syd.odn.ne.jp

URL : <http://www.kankou-fa.jp>

2013年3月6日

## 平成25年度をむかえるにあたって

副会長 山方茂利

昨年11月 名物砂蒸し風呂と黒豚を味に薩摩半島南端の指宿温泉と薩摩焼のルーツとされる日置市美山、司馬遼太郎の小説「故郷忘じがたく候」に紹介されている(14代沈寿官)美山の陶器の里を2泊3日で欲張りプラン、指宿の旅館は満杯、満室で結果は鹿児島市内のホテルをベースの旅となった。

市内から指宿に向かう電車の中や砂蒸し風呂の施設で若い女性、学生と思われる若者、新婚の韓国からの旅行者(団体でない)に巡り会った。

頭の中で描いていた美山の陶器の里のイメージも大きな差が無く、年配のタクシードライバーにも満足

1598年韓国全羅北道南原城から多くの陶器職人を拉致?し島津藩御用達の白薩摩、汎用向け黒薩摩を美山地区で藩の工場として、望郷の念無視、陶器作りを促し延々425年。陶作工房や展示館、15代の沈寿官氏にお会いし大満足の旅でした。

鹿児島で見かけた様に日本人、外国人を問わず旅行者が歴史有る建造物、窯元を訪ねたり、のんびりと観光地を散策、温泉を楽しむ姿が増えた事は喜ばしい限りである。

政府観光局(1月)発表の1月の訪日外国人数は震災前の2011年には及ばないものの66万8700人そのうち韓国人は23万4500人で35.2%増で震災後最多を記録、特に距離的に近い九州は観光客が押し寄せているとか。

進む円安、ウオン高の効果、さらには格安航空会社(LCC)が後押ししていると思われるが、他の東南アジアの訪日客も増えている事は観光関係団体にとっては楽しみであります。

公益法人として幼児の我が協会も義務付けられている事業報告書を作成、提出しなければなりません、作成に当たり部会の責任者の方々には初体験で大変ご苦労をお掛けいたしました。

25年度は公益法人としての2年目、事業活動も初年度の経験を生かし1歩前進の活動にしたい。さらに一般の方々にも広く認知、理解して頂き会員増に向けて広報、ホームページ等にも力を入れてまいります。

25年度は協会設立60周年の年を迎えます、会員各位の意見を賜り有意義な60周年行事も早急に検討し委員会で結論頂き次第お知らせ致します。

25年度も宜しくお願い申し上げます。

## HOTERES JAPAN 2013 報告

2013年 第41回 国際ホテル・レストラン・ショーが2月19日~22日に開催され、昨年より約3,000名程多い、52,071名の入場者を得て、盛況裡に終わることができました。

当協会主催の特別企画「エコ達人村の相談デスク」(日本温泉協会共催)は、今年で4年目。協会の誇るエコ達人(会員設計事務所4社、会員企業10社、会員外企業4社、)が、予約を頂いた14社の旅館・ホテルに対し、「エコ・小」すなわちエコの考え方で観光施設の省エネを図り、より小さなエネルギーによる運営への転換をアドバイスさせて頂きました。この活動は軌道に乗り、具体的な成果が積み上げられてきていることから、今後は「地域エコ・小」への発展が期待されています。

ブース内の協会の活動紹介では、東日本大震災復興支援・三陸沿岸被災地調査、「ホテル・旅館のための避難絵図」2012年SDA賞入選、観光地活性化支援活動・「観光交流空間のまちづくり研究会」「観光地からの依頼による支援活動」をパネル展示しました。

最終日22日には「ローテクの見える化《計測》で激減できる水光熱費」のテーマで、実際に旅館・ホテルを経営、運営されている3名のパネリストを招いて、パネルディスカッション方式のセミナーを開催しました。計測の重要性、無駄の発見、運営改善の話から、従業員の意識改革、さらには働き甲斐、生きがいの話にまで至り、入場者約50名の方々熱心に聴講されました。



## 建築部会の活動方針とこれからの予定

建築部会長 森 一朗

宿泊特化型ホテルは今やホテル業界ではマイナーな存在ではないと思われます。7年連続顧客満足度No.1獲得のリッチモンドホテルがシティホテル仕様のフルスペックに挑戦した「ウェストヒルズ水戸」の見学会を、そして韓国仁川空港に出来た大規模国際業務地区等、世界最優秀空港賞を受賞した空港の日帰り見学会を往復8,000円の会費で目論見中です。

## インテリア部会の活動方針とこれからの予定

インテリア部会長 寺本昌志

インテリア部会は会員相互の交流を前提に、これまで通り「セミナー」、「施設見学」、「企業見学」、「新情報発信」の目的別に四つのグループに分けて活動を行っていき、国際観光施設協会に相応しいテーマや話題を会員の皆様や関連業界に対し提供していきたいと考えております。部会運営面ではメンバーの交流を深める意味でもグループメンバーの編成を3月中には再編成するつもりで、新年度は新たなメンバーで各グループにスタートを切って頂きたいと思っております。

今後の予定としては本年度の最後の事業として3月に「江戸の匠」と題し東京の下町にある町工場の技を見せて貰う企業見学会を予定しています。来年度の予定としては幹事会を4月、8月、1月の3回開催し、100名規模のセミナーを10月に予定し、施設見学を5月、9月の2回行い、情報発信に関する研究会を6月、2月の2回、企業見学を来年3月に行いたいと思っております。来年度も協会の発展の為に話題性のある部会活動を進めて参りたいと思っております。

## 設備部会の活動方針とこれからの予定

設備部会長 横山 豊

設備部会は所属会員で構成されるワーキンググループ(WG)の活動を前年度より引き続き行ないます。地球環境保全関係技術を研鑽することによりその情報を広めることを目的とした活動を行い、併せて部員相互及び協会活動の相互理解を促進することにより活動の活発化を図ります。また今年度も会員の関心のある施設を見学し交歓会を行なう事により会員相互の交流及び親睦を深めます。

設備部会幹事会、WG交流会は年4回、施設見学会は年2回を予定しています。またその見学記を協会情報誌に発表することにより会員の参考となるよう努めます。

## 訃報

協会相談役 林幸二郎様が1月15日92歳の天寿を全うされました。林さんは昭和40年運輸省観光局整備課長に就任後、当協会の創世記から理事として46年には常務理事、54年副会長として掛替えのない働きをしてくださいました。御恩に感謝しつつご冥福を心よりお祈り申し上げます。

## 賀詞交歓会 報告

1月15日ホテルメトロポリタン・エドモントにおいて平成25年賀詞交歓会を開催、143名の会員が新年を寿ぎ相互に交流を深め合いました。念頭にあたり、中山会長より「日本の宿泊産業のおもてなしのところが価格競争によって失われつつあることを憂い、おもてなしの心に無限の価値がある」との挨拶がありました。観光庁より寺田観光産業課長がお見えになりご祝辞と乾杯のご発声をいただきました。

## 平成25年度通常総会開催日及び会場について

来る平成25年度は当協会設立から60周年の年となるため記念行事は別途検討委員会を設け相応しい記念行事を年度内に実施予定です。通常総会および総会後の交歓会は6月14日(金)ホテルメトロポリタン・エドモントで開催することにしました。

## 新入会員紹介

### [メカ]株式会社 前野木工

(代表者・担当者)代表取締役社長 前野修氏  
〒492-8410 愛知県稲沢市北島 1-125

TEL 0587-36-0860 FAX 0587-36-6345

業務内容：木製家具、建具製造販売、増改築・リフォーム工事、耐震補強工事

## P 第101回記念ゴルフ大会 報告 P

第100回記念ゴルフ大会も盛況に終わり、今新たな気持ちで第101回のゴルフ会を企画中です。皆さんのよりよい親睦の場となりますよう、盛り上げていきたいと思っております。

次回は5月9日(木)開催予定です。開催コース等、詳細につきましては追って連絡させていただきます。多数の参加をお待ちしております。

## カメラ倶楽部撮影会のお知らせ

横浜の異国情緒が香る山手で、指定文化財の洋館と特徴あるミュージアムを巡ります。昼食は日本一の規模を誇る横浜中華街で、散策を含めて会員相互の交流会を深めたいと思います。カメラをお持ちでない方も多数のご参加をお待ちしています。実施日は4月7日(日)を予定していますが、詳細は後日お知らせいたします。

## ◎編集後記◎

公益社団法人としての活動が始まって1年がたち初めての年度末を迎えます。目標に掲げた公益目的事業や会員向け事業も、この協会だよりでご報告している通り順調に進められています。1年間の各事業の成果や収支について総会で承認を受けた後、新たなルールに則り、公益法人としての初年度に当たる平成24年度の実績として監督官庁に報告することになりますが、初めての経験でもあり事務局の作業も煩雑さが大いに増すことになると思います。必要な事柄について全員で協力してまいりたいと思います。

Y・K